



こうふ開府500年
1519-2019

2020.11.1

No. 207
9月
定例会



甲府市内の飲食店は、感染予防対策をしてみなさまをお待ちしています。

CONTENTS

- 引き続き新型コロナウイルス感染症に
対応した 9 月定例会…………… ②～③ページ
- 市民と議会の交流会 みなさまからの
ご意見はどうなった!? …………… ④ページ
- 市政に関する質問…………… ⑤～⑩ページ
- 常任委員会審査の概要…………… ⑪ページ

- 令和元年度決算審査特別委員会審査の概要
…………… ⑫～⑬ページ
- 審議結果／人事案件等…………… ⑭ページ
- 意見書の要旨…………… ⑮ページ
- 請願審査結果／議会日誌／12 月定例会の予定
…………… ⑯ページ

引き続き新型コロナウイルス感染症に対応した **9月定例会**

9月定例会の概要

甲府市議会は、9月定例会を8月31日から9月25日までの26日間の日程で行いました。新型コロナウイルス感染症対策について取り上げたほか、甲府市子ども屋内運動遊び場条例制定について、令和元年度甲府市各会計別決算の認定についてなど、各常任委員会及び決算審査特別委員会の審査を経て、提案された22案件をすべて原案のとおり可決・認定・同意・可決及び認定いたしました。

甲府市子ども屋内運動遊び場条例は、令和2年3月定例会で可決した甲府市子ども未来応援条例に基づき、遊びの中で子どもの運動への興味・関心を深め、運動能力の向上、豊かな心や健やかな体の成長に寄与する子ども屋内運動遊び場を設置するための条例です。主な補正予算は、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対応策(第6弾・第7弾)に関わるもので、感染拡大を防ぎ、新たな日常を作り上げていくための予算措置となっています。

1

令和2年9月定例会を開会、新型コロナウイルス感染症に対応する補正予算案等について、市長から提案理由の説明を受けました。



4

各常任委員会を開催し、付託された議案の審査のほか、新型コロナウイルス感染症対策についてなど調査を行いました。

2

3日間の市政一般質問では、日々の市政課題についての質問とともに、新型コロナウイルス感染症への対応状況を確認、新たな提案も行いました。

5

新型コロナウイルス感染症対応策に係る補正予算案等を可決、成立させました。

3

更なる感染症対策のため、追加の補正予算案が提案されました。

6

感染症拡大防止に配慮し、令和元年度決算を審査する決算審査特別委員会を開催しました。
※概要は12・13ページ

1

8/31

2

9/3、4、7

3

9/7

4

9/8、9

5

9/11

7

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開き、民間事業者がどのような状況にあるか調査し、今後の対応策に反映させるため、甲府商工会議所と意見交換することを決定しました。

8

令和元年度決算を認定した後、市長から追加提案された緊急対応策(第7弾)に関連する補正予算案等を審議し、可決、成立させ、9月定例会は閉会しました。

6

9/14～23

7

9/24

8

9/25

閉会中の12月定例会までの間も、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催する予定です。市民のみなさまの声をお聞きし、今後の取組に反映させてまいります。



市政一般質問において新たな対応策を提案

新型コロナウイルスに係る財政運営について

(答弁)

緊急対応策に伴う補正予算については、総額約213億5千万円の予算で対応しました。感染症拡大への引き続きの対応や景気後退による市税収入の減が予想される中、歳入面においては国の財政措置を活用しつつ、法人市民税などの減額を補填する減収補填債、地方税の徴収猶予に対応する猶予特例債、公営企業会計における特別減収対策企業債の発行や基金の効果的な活用、また歳出面においては緊急度・優先度を把握した事業執行や事業の年度間調整など、歳入・歳出両面からの財源確保に努め、市民の安全・安心を支える行政サービスの推進と、その基盤となる本市財政の確立のため長期的な視点に立った持続可能な財政運営に努めます。

新型コロナウイルス感染症対策について

(答弁)

保健所では、帰国者・接触者相談センターにおける市民からの問い合わせに対して円滑かつ適切に対応するため、新たに看護師資格を有する職員を採用したほか、迅速かつ効率的な疫学調査を実施するため、他部署から保健師などの職員を流動措置するなど、人員体制の整備に努めています。今後も保健所職員の経験と専門的な知識や技術を活かす中で保健所の役割を果たすことができるよう、感染状況に応じた万全な体制を整えてまいります。

PCR検査の拡充について

(答弁)

更なる検査体制の強化を図る観点から、甲府市医師会と連携する中で、新たに甲府市地域医療センター内にPCR検査機器等を配備した検査室を整備し、市民が身近な「かかりつけ医」において検査できる体制を構築することとしました。国において示された、医療機関、高齢者施設等に勤務する者、入院・入所者を対象とした一斉・定期的な検査の実施などの方針を踏まえ、甲府市医師会とも連携する中で検査体制の整備に努めてまいります。



市民と議会の交流会

みなさまからの
ご意見はどうなった!?

令和元年11月11日、12日に開催した市民と議会の交流会では、市民のみなさまから多くのご意見を頂戴しました。いただいたご意見の取扱いについてご報告いたします。



主なご意見とその対応



いただいた
市民の声



委員からの意見

取扱いの方向性

担
当
委
員
会

- ・災害に強いまちづくりをしてほしい
- ・豪雨への備えをしてほしい
- ・洪水被害が生じたときの対応策が心配

- ・1000年に1度の豪雨を想定した洪水ハザードマップの周知を行い、まちかどの電柱や公共施設などに被災時の浸水深などを掲示し、見える化するべき
- ・今年度から台風や大雨に対する訓練を行うことについて更なる周知が必要

洪水ハザードマップや避難訓練についての周知が行き届いていないことが明らかになったことから、取組をもっと推進すべきであると市執行部に伝える

総務委員会

- ・心の教育を充実させてほしい
- ・障がい者への理解を深め、手話の普及を行ってほしい

- ・聴覚障がい者の現状や当事者の声を聞く機会を設けていくべき
- ・手話の普及に関して、学校教育や生涯学習で取り扱えないか議論していく

手話の普及については、委員会で調査・研究していく

民生文教委員会

- ・地場産業と企業誘致により働く場所を増やしてほしい
- ・宝石関係の起業を後押ししたらどうか
- ・都会流出を食い止めるための方策を打ち出してほしい

- ・市として求人に関する情報を収集するとともに、情報発信を行い、マッチングを強化するべき
- ・市として利用されていない土地の情報について、積極的に情報発信し、土地の有効利用を図っていくべき

働く場所の確保については、今後も委員会において調査・研究を継続していく

経済建設委員会

- ・学校教育を通じて環境教育を進めてほしい

- ・既に計画している環境教育を周知徹底し、推進していくべき
- ・地球温暖化対策やマイクロプラスチックの問題に対して提案していく

環境教育について、現状の取組状況を調査し、議論を深めていく

環境水道委員会

こうふクラブ
代表質問（分割）

山田 厚

PCR検査体制の更なる強化について

質問Q

本市の感染症対策は経済優先で、医療や公衆衛生に関する対策が遅れていたと感じていますが、緊急対応策（第6弾）の「PCR検査体制の更なる強化」における検査方法、検査数、開始時期について伺います。

并答A

検査方法は、新たに甲府市医師会が主体となり、地域の「かかりつけ医」において検体採取を行い、移動式の検体採取車両も導入する中で、甲府市地域医療センター内に整備する全自動PCR検査機器等を配備した検査室において検査を実施してまいります。

この検査体制により、集中的に検査が必要な施設での感染拡大防止等が図られ、検査数は1カ月最大720件の増加が見込まれることから、山梨県全体の検査能力拡充にも貢献できると考えています。なお、この検査体制は、12月からの実施を目指しています。

市立小中学校のICT教育について

質問Q

ICT教育の推進には、対面の教育がなおざりにされることや、教職員の過重労働となるなどのデメリットがあると考えますが、見解を伺います。

并答A

本市では、授業は対面で学ぶことを基本と考えており、ICTは知識の確実な習得や思考を深め、広げるなど、授業の質を向上するために使用するもので、既に学校現場では、大型ディスプレイに児童が書いた意見等を表示し、思考を深める授業等が実践され、その効果が報告されています。

また、導入期の教員の負担軽減や効果的なICTの活用に組織的・計画的に取り組んでいくため、今定例会に補正予算として、サポートティーチャー事業費を提案したところです。

今後、全ての児童・生徒のこれからの時代を生きる基盤となる資質・能力の育成に努めてまいります。



■その他の質問事項

・新型コロナウイルス感染症以外の健康管理と予防について 他

政友クラブ
代表質問（分割）

岡 政吉

児童館の設置について

質問Q

児童館は、子どもの健全な育成を目的とし設置されています。保護者の皆様が子どもを託し、安心して子育てができる児童館と、地域の皆様のコミュニティの場所との複合施設を、市内で子どものいる世帯が一番多く居住する山城地区に建設を考えてはいかがか、ご所見を伺います。

并答A

児童館機能を持った複合施設は、地域の子どもが安心して過ごせる場所や地域コミュニティ活動の拠点となるなど、地域で子育てを応援する施設であり、本市が推進する子ども未来応援施策と方向を同じくするものです。

今後、地域における需要を踏まえ、関連施設との複合化等によって必要な機能の充実や施設の有効活用に加え、市民の皆様や関係団体等との協働による効率的な運営が図られるよう様々な視点から、施設に関する調査・研究を行ってまいります。

甲府名山について

質問Q

甲府市は四方を山に囲まれた「山の都」であることから、甲府名山25山を指定しました。その25山を全て登り調査したところ、道の整備や指標の少なさなどが散見されましたが、今後の対策について見解を伺います。

并答A

甲府名山は、こうふ開府500年記念事業の一環として、武田信玄公と武田二十四将にあやかり、標高が2000メートルを越え日本百名山に選定されている山から地元で愛されている400メートルほどの山まで、25山を幅広く選定しています。

登頂ルートが整備されているものがある一方、登山道の入口や頂の位置が分かりにくいなど、整備されていないものがありますので、登山者の利便性の向上や遭難の防止の観点から、今後、も案内看板の設置や登山道の整備を順次進めてまいります。



■その他の質問事項

・自治会の加入促進について 他



創政こうふ
代表質問 (分割)
金丸 三郎

リニア新駅の周辺地域問題 及び名称提言について

質問Q リニア新駅周辺の土地利用計画は、平成元年8月以来、山梨県が主体的に先導してきたが、昨年2月以降の県の動向は先駆者たちの努力を無視するもので、今後は、じっくりと進めるべきと考える。

また、新駅名を「富士山甲府駅」にすべきだと提言する。

回答A 本市では、リニア駅周辺に、新たな産業の立地や、研究開発機能の拠点が形成されることで、最先端技術による県内産業の活性化や、優秀な人材の確保を期待していることから、「現下の厳しい経済状況や民間投資の動向を見極めながら、山梨の産業を牽引し、地域の特性を活かした民間企業を積極的に誘致するべき」とのご意見は、本市の土地利用の方向性と一致するものと考えています。リニア新駅の名称については、リニア中間駅の中で、世界遺産で

ある富士山に最も近い駅となることを踏まえ、国内外の多くの人々が集う山梨県の新しい玄関口として相応しい名称となるよう、県や関係市町と連携して気運を高めていくことが必要であると考えています。

マスク購入券配布事業について

質問Q 武漢ウィルス・パンデミックへの本市対応策を検証すると、その多くが評価されているが、「マスク購入券」配布事業だけは10%しか利用されなかった。この事業は、どこで企画され、どのような経過で実施されたのか、その責任を問う。

回答A 購入券は5月12日から市内9万9091世帯に順次配布し、マスクの販売は6月30日まで県内28店舗で行われ、1箱50枚入りで1万6949箱、9936世帯に販売されました。

実施時期は、最適とは言えませんでした。日常生活で必需品となったマスクを必要としている約1万世帯の市民の方々の期待に応えられたものと考えています。



公明党
代表質問 (分割)
植田 年美

SDGsの推進と気候変動 非常事態宣言について

質問Q 近年の気候変動に対する強い危機感を市民と共有し、「SDGs行動の10年」のスタートにあたり未来のために気候変動非常事態宣言を表明すべきと考えますが、見解を伺います。

回答A 気候変動問題については、国連が持続可能な開発目標「SDGs」の中で「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」とし、各国に具体的な対策を求めていることから、本市では山梨県が年内に発足予定の「仮称 ストップ温暖化やまなし会議」に参画し、地球温暖化対策の強化に取り組んでまいります。

気候変動非常事態宣言についても、気候変動に対する危機感を市民と共有する有効な手段の一つであることから、各都市の状況を調査・研究してまいります。



「新しい生活様式」に向けた 諸施策の実現について

質問Q ウイズコロナの時代における政策形成の基本的な考え方について「地域未来構想20オープンラボ」を活用しながら、政策立案することも含めて、今後の基本的な考えを伺います。

回答A 新型コロナウイルス感染症の拡大は、個人や企業など様々な主体の行動、意識、価値観に影響を及ぼし、世の中に大きな変革をもたらしており、多岐に渡る専門家の持ち得る技術やノウハウの活用は政策形成の過程において有効な手段であり、「地域未来構想20オープンラボ」もその一つであると認識しています。

今後、感染症等のリスクに強い社会の構築と、地域経済の回復を図るため、国が実施する様々な支援策の活用を通じて、「社会の変化」や「時代のニーズ」を捉えた質の高い施策形成に努め、市民の皆様が安心な暮らしを享受できるように最善を尽くしてまいります。

その他の質問事項

・重度心身障害者医療費の電子決済について 他



こうふ未来
代表質問（分割）

藤原伸一郎

リニアKＳプロジェクトについて

質問 Q リニアKＳプロジェクトの経過と山梨県との協議内容について伺います。

并A 平成29年12月には、リニア駅周辺の高室町、大津町、西下条町の皆様から、山梨県知事、甲府市長、ＪＲ東海に対し、市街化区域編入の要望が提出され、本市では、県の整備方針を受け策定した「甲府市リニア活用基本構想」においてリニア駅への円滑なアクセスが確保できるエリアへの居住機能の誘導を推進することとしていることから、「市街化区域編入」の要件となる「組合施行の土地区画整理事業」の勉強会開催を呼びかけさせていただく「リニアKＳプロジェクト」を平成30年4月に立ち上げ、県にも説明しました。

その後、「山梨県都市計画マスタープラン（原案）」で示された「新たな土地利用に向けた具体的な取組が進んだ段階で適切な対応を

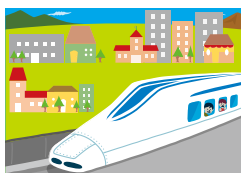
講ずる」とした文章が、令和2年4月に削除され、本市に通知されたところです。

当該文章の再度掲載を求める意見書の提出など、要望や協議を重ねてきたものの、県は本市に対して「市街化区域の拡大は困難である」という見解のため、協議の進展は図られませんでした。

同年7月10日の県・市の協議の席上では、新たな見解として「リニア駅近接地域の市街化区域編入の可能性などを検討したい」との文書が示されました。

しかし、7月17日、山梨県が高室町の皆様に行った説明では、本市へ示された新たな見解とは異なり、「市街化区域の拡大は困難である」と伝えられたと聞いています。

このため、高室町の皆様には土地区画整理事業の取組にご協力していただいているにもかかわらず、これまでの県の対応が二転三転したことにより今後の事業の展開に大変ご心配をおかけしており、地元の皆様のご意見を確認する中で、山梨県の「甲府都市計画区域マスタープラン」の策定にあたり、協働して要望を行ってまいります。



日本共産党
代表質問（分割）

木内 直子

PCR検査の拡充について

質問 Q 県内で感染者数が一番多い本市において、積極的な検査体制の拡充、特に、医療機関、介護施設、保育園、学校、消防署など

集団感染のリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を「行政検査」と位置付け、市が責任をもって実施する必要があると考えますが、見解を求めます。

并A 更なる検査体制の強化を図る観点から、甲府市医師会と連携し、甲府市地域医療センター内にPCR検査機器等を配備した検査室を整備し、「かかりつけ医」において検査できる体制を構築してまいります。

国において示された、医療機関、高齢者施設等に勤務する者、入院・入所者を対象とした一斉・定期的な検査の実施等の方針を踏まえ、今後も、甲府市医師会と連携し、検査体制の整備に努めてまいります。

学生への支援について

質問 Q 全国では、自治体が独自に学生を支援する取組が広がっています。新型コロナウイルスにより学習・研究等に支障をきたしている学生の実態調査、相談活動、現金給付などの支援が必要と考えますが、見解を求めます。

并A 本市では、国等の支援制度を活用していただけるよう青少年の学校生活や進学等の相談にも対応するため、青少年育成センターに設置している青少年相談室において、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、経済的困難となる学生等からの相談に対し、困窮の状況や実態把握に努める中、相談者それぞれの状況に応じた給付金や奨学金、授業料免除制度を紹介するなどの対応を行っているところとです。

■その他の質問事項
・甲府市立小中学校、甲府商業高等学校の男女混合名簿導入について 他





政友クラブ
一般質問（分割）

小澤 浩

成年後見制度の利用促進について

質問Q 本市のこれまでの成年後見制度の利用促進に対する取組状況と今後の方向性についてご所見を伺います。

并A 昨年4月に「甲府市成年後見制度中核機関」を設置し、ネットワークの構築により、制度の利用促進に向けた周知啓発を行うとともに、支援体制の整備を図る中、関係機関の連携を目的とした「成年後見制度利用推進連携協議会」や、困難事例・市長申立案件等の個別事例の解決にあたる「定例会」を開催し、制度を必要とする方を支援してまいりました。

今後は、県内で唯一の中核機関として、より広域的な役割を担えるよう周辺自治体との協議を進めるなど、更なる成年後見制度の利用促進に取り組んでまいります。



コロナ禍における学校教育について

質問Q 本市における学習指導員及びスクールサポートスタッフの配置状況について、現状をお示しください。

并A 本市では、教員の負担を軽減し、本来の業務である授業をはじめとした子どもたちへの指導に注力するために有力であると考えたことから、全小中学校に学習指導員及びスクールサポートスタッフを各1名、甲府商業高校に学習指導員を1名の計73名の配置を計画したところであります。

一方、短期間での人材確保に困難が予想されたことを踏まえ、雇用・配置にあたっては、一日当たりの勤務時間を柔軟に選択できるようにするとともに、各校のニーズと当該人材の経歴・資格等のすり合わせを丁寧に行うなどの工夫を行った結果、既に全ての学校に配置を完了しており、学校現場からは、コロナ禍による教員の負担が軽減されたとの評価をいただいています。

その他の質問事項

・アフターコロナ時代を見据えた企業誘致について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

末木 咲子

甲府市協働支援センター及び甲府市子ども応援センターについて

質問Q 8月に開所した協働支援センター設置の考え方と、今後の子ども応援センターの取組について伺います。

并A 近年、地域課題が多様化・複雑化するとともに、地域活動の担い手不足による地域力低下の進行が危惧される中、多様な主体が協働し、地域課題の解決に取り組むこと、また、多様な分野における市民活動の活性化を図られることが肝要であると考え、その拠点施設となる協働支援センターを開設し、「あつまる」「つながる」「活躍する」のコンセプトのもと、取組を推進してまいります。

また、子ども応援センターについては、今後も市民の皆様と相互に連携・協働し、ネットワークを構築する中で、効果的に事業が展開できるよう取り組んでまいります。

子どもを守る義務について

質問Q ①児童虐待の防止について ②児童・生徒の被害や性暴力への教育現場における対応について ③チャイルド・デス・レビューについて伺います。

并A 本市では、子どもの権利を尊重し互いに連携・協力しながら子どもの健やかな成長を応援するため、「甲府市子ども未来応援条例」に規定した子どもの権利を守る取組を推進しています。

①児童虐待の防止において、地域への普及啓発活動などを進めるとともに、地域全体で子どもの育ちを支え、守ることができるよう体制づくりについて検討してまいります。

②児童・生徒の発達段階に合わせ、当事者にしないための生命の安全教育の推進を注視してまいります。

③予防可能な子どもの死亡を減らすことができるようにつなげてまいります。

その他の質問事項

・新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム及び接触確認アプリ（ココア）について 他





創政こうふ
一般質問 (分割)

小沢 宏至

民有地に堆積した災害ごみの取扱いについて

質問Q 土砂災害等により民有地に堆積した流木や倒壊家屋等の災害ごみ撤去への支援について見解を伺います。

答弁A 甚大な災害により、竹木及び土石等の障害物が日常生活に欠く事のできない場所へ侵入した場合等における災害ごみの除去は、甲府市地域防災計画の障害物除去計画に基づき実施することとされており、住家が直接被害を受けたものなど、除去対象条件に該当するものについては、早急に除去の順位を決定してまいります。

除去の実施においては、国土交通省の都市災害復旧事業や環境省の災害等廃棄物処理事業などの復旧事業を活用することが前提となることから、各関係機関と緊密に連携を図るとともに、本市で対処が難しい場合は、山梨県及び協定締結自治体等に、応援を要請するなどの対応を図ってまいります。

自転車通学者の保険加入状況と安全教育について

質問Q 山梨県条例で自転車通学者の保険加入が義務となったことに伴う学校での取組について伺います。

答弁A 「山梨県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」では、学校に対して、本年、4月1日からの児童・生徒への自転車交通安全教育等の実施、10月1日からの自転車通学者に対する保険等への加入の確認等と、全ての自転車利用者に対する保険等に関する情報提供等に努めるよう求めています。

本市では、これまでも各校において、交通事故防止について学ぶとともに、交通安全教室等を実施し、体験的な学習も行っています。

また、全ての保護者等に対し保険等に関する情報提供を行うとともに、加入状況の確認についても、今年度中に、全ての学校で実施する予定です。

その他の質問事項

・スマート林業による森林管理について 他



新型コロナウイルス感染症対策について



創政こうふ
一般質問 (分割)

望月 大輔

質問Q 地方創生臨時交付金など国の支援策の活用状況について伺います。

答弁A 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策については、第1弾から第5弾を打ち出す中で、総額約213億5000万円の予算を確保し、国からの地方創生臨時交付金については、68の緊急対応策のうち20の対応策に充当しています。

加えて、緊急対応策(第6弾)においても「感染拡大の防止と対策機能の強化」における「サーマルカメラの設置」などや、「市民生活への影響の抑制」における「ICTを活用した学習環境の充実」など、また、「経済活動の不安の縮小化」における「テレワーク導入助成金」の支給など、12の対応策に地方創生臨時交付金を活用することとしています。

一方で、地方創生臨時交付金以

外の国の財政支援を受ける緊急対応策としては、約189億円を要した「特別定額給付金」をはじめ、「住居確保給付金」や「子ども・子育て支援交付金」、「妊産婦総合対策事業」など26の対応策に約196億円を活用しているところです。

また、緊急対応策(第6弾)においても甲府市医師会との連携による「PCR検査体制の更なる強化」や「市立甲府病院における院内感染防止対策の強化」において「緊急包括支援交付金」の活用も予定しているところです。

今後も、感染の状況を注意深く見極め、引き続き感染拡大の防止への対策を怠ることなく、国や県などの緊急支援対策等と連動させたい必要な支援を着実に実施していくとともに、新たな生活様式に対応した市民生活・地域経済の回復につなげる施策を更に講じていくため、地方創生臨時交付金などの国の財政支援を効果的に活用してまいります。

その他の質問事項

・持続可能な放課後児童クラブ運営について 他





公明党
一般質問（分割）

堀 とめほ

風水害・土砂災害における 自助強化の取組について

質問Q 風水害・土砂災害における自助強化の取組として、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせ、予め時系列で行動計画を立て、災害に備えるマイ・タイムラインを導入すべきと考えますが、見解を伺います。

回答A 市民の皆様一人ひとりがご自身の避難行動について検討していただくことは大変重要であると認識しており、マイ・タイムラインについては災害リスクと正面から向かい合い自らの避難行動について考え、時系列の計画を立てるものであることから大変有意義な取組であると考えます。

今後は、マイ・タイムラインや「逃げるマップ」など他都市の事例を参考に防災力の向上が図られるよう取り組んでまいります。



重層的支援体制整備事業について

質問Q 包括的な相談支援、参加の支援、地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を、来年度から実施する自治体に国の財政措置が講じられることを踏まえ、課題を抱える本人と家族を中心とした支援のため、積極的に取り組むべきと考えますが、ご所見を伺います。

回答A 本市では、市民の皆様からの相談に対し、その内容に応じた窓口にて各窓口が連携し対応しておりますが、複雑・複合化した支援ニーズに対応するため今後の支援のあり方について検討を始めたところです。

今後、地域の皆様や関係機関との連携を図り本市全体として、重層的支援体制整備事業の趣旨である、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていける「地域共生社会」の実現に向けて取り組んでまいります。

その他の質問事項

・動物の終生飼養と適正飼養の推進について 他



こうふ未来
一般質問（分割）

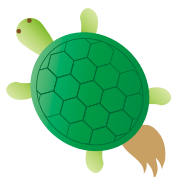
川崎 靖

遊亀公園内の命の水と呼ばれる水飲み場跡地や石碑等について

質問Q 戦争の記憶や甲府の歴史を今に伝える命の水と呼ばれる水飲み場跡地や石碑等は、遊亀公園のリニューアルにおいて何らかの形で残すべきと考えますが、見解を伺います。

回答A 遊亀公園及び附属動物園の整備は、子どもがいきいきと元気に遊ぶ、また、多くの市民が集い憩える場として、公園と動物園を一体的に整備し、賑わいと交流を創出することとしています。

今後、公園及び動物園の整備を進めるにあたっては、子どもたちが甲府市の歴史や自然・文化を感じながら健やかに成長できる公園とするため、歴史的資源も活かした整備を検討してまいります。



中心商店街におけるエリアとしての感染対策について

質問Q 山梨県が現在行っているやまなしグリーン・ゾーン認証制度は、個々の店舗への取組ですが、甲府市においては中心商店街ヘゾーン（エリア）として感染対策をすべきと考えますが、見解を伺います。

回答A より多くの方々に、安心して足を運んでもらうためには、安心と信頼の証であるグリーン・ゾーン認証を受けるなど、各店舗による感染対策の徹底が何よりも重要であり、その積み重ねが、「点」から「面」へと拡大し、エリア全体の安全・安心につながると考えています。

本市としても、「観光事業者等衛生対策補助金」の活用促進とともに、広報こうふや本市ホームページなどでのやまなしグリーン・ゾーン認証制度の周知を継続する中で、感染症に強い事業者の拡大を図ってまいります。

その他の質問事項

・甲府空襲の体験談を残す取組について 他

常任委員会審査の概要

予算や条例など付託案件を
審査した経過等の概要です。

常任委員長
報告要旨

総務委員会

委員長：輿石 修 副委員長：鮫田光一
委員：小澤 浩 末木咲子 清水 仁
長沢達也 廣瀬集一 山田 厚

(9月8日審査)

◆議案第118号 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、特別職給与の減額が一般職に影響を及ぼさないよう求める意見がありました。

◆議案第101号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第8号)中総務委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、Web会議やAI会議録システムが庁内全体で有効に活用できるよう求める意見がありました。

◆議案第116号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第9号)中総務委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、信玄公生誕500年を記念する企画展の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すよう求める意見がありました。

◆議案第106号 甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について 他2案
3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第119号 教育委員会教育長の任命について

全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

(9月25日審査)

◆議案第120号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第10号)中総務委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、自治会への感染予防物品購入補助については、今後の自治会加入促進にもつながるよう効果的な活用を求める意見や、防災動画の作成にあたっては、有効に活用することにより、市民の防災意識の高揚に努めていくよう求める意見がありました。

経済建設委員会

委員長：天野 一 副委員長：中村明彦
委員：荻原隆宏 岡 政吉 坂本信康
望月大輔 川崎 靖 清水英知

(9月9日審査)

◆議案第101号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第8号)中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、都市計画道路築造工事(宝二丁目北新線)については、地元住民等の思いを受け止め、適切に進捗管理を行う中で早期完成に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第103号 令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第2号) 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第2-10号 日本遺産の内容に関する請願

甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡が日本遺産に認定されたことを千載一遇のチャンスと捉え、伝統や文化を含め観光振興に取り組んでいく必要があることから、願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

なお、請願第2-10号の請願については、当局に対し、令和2年12月定例会でその処理の経過と結果について報告を求めます。

(9月25日審査)

◆議案第121号 工事請負契約の変更契約の締結について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、地域住民や工事関係者等の安全確保に十分留意する中で、早期完成に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第120号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第10号)中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、農家やJA山梨みらい等と積極的に意見交換を行う中で、引き続き農業支援に努めるよう求める意見や、「がんばろう甲府! 最大30%戻ってくるキャンペーン(第2弾)」については、より多くの店舗で利用できるよう、市内事業者へのキャッシュレス決済導入支援を求める意見がありました。

民生文教委員会

委員長：神山玄太 副委員長：寺田義彦
委員：池谷陸雄 原田洋二 長沼達彦
山中和男 植田年美 木内直子

(9月8日審査)

◆議案第104号 令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第3号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、病院経営に支障を来さぬよう国に対し減収分の補填を要望するよう求める意見がありました。

◆議案第117号 令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第4号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、医療従事者の安全を確保するとともに、機器導入により速やかな診断を可能とするよう求める意見がありました。

◆議案第105号 甲府市子ども屋内運動遊び場条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、子ども最優先の観点から子育て世代に寄り添った施設とするため、スポンサー企業の広告を募るなど、創意工夫を図る中で財源を確保することにより、経営の安定化や利用料金の見直しを図るとともに、施設利用時の駐車場や民間活力を生かした運営について検討するよう求める意見がありました。

◆議案第102号 令和2年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第2-8号 経営破綻による医療・介護崩壊が起きないために、緊急財政支援を求める請願

◆請願第2-9号 新型コロナウイルスにより医療機関・介護事業所の経営が破綻しないよう国に意見書の提出を求める請願

2件については、国の責任によって財政支援を行うことが必要だと考えることから採択すべきであるとの意見と、これまで市中病院、介護事業所も多く病院等と連携して国に対し要望されており、請願の願意は国に十分伝わっていることから不採択とすべきとの意見があり、採決の結果、いずれも多数を持って不採択とするものと決しました。

◆請願第2-6号 教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

◆請願第2-7号 甲府市立図書館サービスの充実を求める請願
2件については、いずれも願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

なお、請願第2-7号の請願については、当局に対し、令和2年12月定例会でその処理の経過と結果について報告を求めます。

(9月25日審査)

◆議案第120号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第10号)中民生文教委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、インフルエンザ予防接種費用の助成については、対象者への個別通知において、特に受験を控える児童・生徒への配慮を求める意見や、学校施設における空調機器の設置に係る電気工事については、学校との協議により授業に支障を来さないよう求める意見がありました。

環境水道委員会

委員長：小沢宏至 副委員長：深沢健吾
委員：鈴木 篤 金丸三郎 兵道顕司
堀とめほ 藤原伸一郎 山田弘之

(9月9日審査)

◆議案第101号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第8号) 中環境水道委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

令和元年度決算審査

特別委員会審査の概要

令和元年度決算を審査

◆決算審査特別委員会

委員長	坂本信康
副委員長	天野 一
委員	池谷陸雄
	深沢健吾
	奥石 修
	植田年美
	廣瀬集一
	清水英知
	原田洋二
	鮫田光一
	寺田義彦
	中村明彦
	川崎 靖
	山田 厚



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◇中核市移行に伴い開設した甲府市健康支援センターの運営について
保健所機能を併せ持った保健衛生行政の拠点としての機能を十分に発揮するため、公衆衛生に関する豊富な経験と高度な知識を有する医師を保健所長として招聘する中、山梨県と連携し、

禍において地域経済が一変したことから、感染拡大の防止策はもとより、税や保険料の納付相談や徴収猶予等の対策のほか、経済変動対策融資に係る補助などを講じたところであり、今後も、感染の状況を注意深く見極める中、豊かで安定した市民生活の向上や地域経済の回復、発展につながる施策を講じていくとの答弁がありました。

◇新型コロナウイルス感染症に対する初動の取組について
本年1月末に保健所が中心となり、

関係医療機関等と感染症対策会議を設置し、医療提供体制や感染拡大防止に向けていち早く取り組み、2月10日には帰国者・接触者相談センターを設置し、24時間体制での対応により市民の不安の軽減を図るとともに、市民への感染予防の働きかけや感染状況に応じた職員体制の整備、更には、医療機関や保育所等の感染予防と業務継続を支援するため、感染予防備品の配布などの緊急対応策も講じたところであり、3月6日に県内初の感染が確認されて以降、市内での爆発的な感染拡大は避けられていることから、適切な初動対応が図られたものと認識しているとの答弁がありました。

◆一般会計

◇歳入について
自主財源の確保に向けた取組についてたまたしたのに対し、本市における低未利用資産の売却等に向け、利用実態の調査を進めるとともに、施設ごとに順次個別方針を策定しているとの答弁がありました。

専門職である獣医師や薬剤師などの職員体制を整備するとともに、本市職員のスキルアップと人材育成に努めたところであり、ノロウイルス等の集団感染への適切な対応や新型コロナウイルス感染症に対する帰国者・接触者相談センターの速やかな設置など、安全・安心な生活環境づくりへの取組に加え、市民の健康づくりを促進するための高齢者のフレイル（用語解説①参照）予防教室など、健康都市こつふ基本構想の推進に向けた事業を展開しており、今後も、本市の実情に応じた健康づくりや健康危機への対応などを着実に推進し、「元気Cityこつふ」の実現に向け取り組んでいくとの答弁がありました。

これに対し、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が続くが、引き続き人材確保や職員研修等に努め、市民の健康を守る体制強化に努めるよう求める意見がありました。

用語解説①

「フレイル」とは、健康と要介護の中間状態のことです。フレイルは、早い時期に予防に取り組むことで、より健康な状態に戻ることができます。

◇こつふ開府500年記念事業の結果と成果について
こつふ開府500年記念式典を皮切りに、故郷こつふへの誇りや郷土愛を育み、未来に向けたまちづくりにつながる各種事業に多くの市民と取り組む

これに対し、今後も様々な手法により自主財源を確保していくよう求める意見がありました。

○総務費について

ホストタウン交流事業（用語解説②参照）についてたまたしたのに対し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、事前合宿を受け入れるフランス共和国をイメージした「KAIFUマルシェ」の開催や、市内小中学校においてオリンピック・パラリンピアン（用語解説②参照）の実施し、機運の醸成と事前合宿地であることのPRに努めたとの答弁がありました。

これに対し、事前合宿を契機に更なる国際交流推進を図るよう求める意見がありました。

用語解説②

「ホストタウン交流事業」とは、本市は、フランス卓球・レスリングチームの事前キャンプ地となり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、様々な機会を通じ交流を深めています。

○民生費について

本市のヘルプカード、ヘルプマークの配布事業についてたまたしたのに対し、令和元年度においてヘルプカードを103枚、ヘルプマークを273枚配布するとともに、ホームページ・広報誌への掲載や、ポスター等を本庁舎や学校施設、県立図書館等へ掲示するなど、様々な周知活動に努めたとの答弁

とともに、本市の取組に賛同する多くの皆様から協賛をいただくなど、まさに市民の後押しのもと推進できたことから、その思いを未来に継承するため、歴史・文化の継承や郷土愛の醸成につながる「私の地域・歴史探訪」や、子どもたちの夢の育成を促す「こつふドリームキャンパス」などを未来に残すべきレガシー事業として継続実施していくとしたところであり、これまで育んだ人との絆やつながりを大切にする中で、市民が甲府に愛着と誇りをもって暮らしていけるよう、今後も取り組んでいくとの答弁がありました。

これに対し、事業期間の最終年を飾る信玄公生誕500年についても、市民とともに楽しみ、学ぶことができるよう、山梨県と連携した事業の展開を求める意見がありました。

◇第六次甲府市総合計画の第4次実施計画を踏まえた令和元年度決算の総括について
第六次甲府市総合計画の4つの基本目標に基づき、子どもが輝くまちとするための甲府市子ども未来応援条例の制定や、ジュエリー産業の振興に向けた海外でのトップセールス、また、大規模災害に備えた新たな防災拠点の整備、更には、持続可能な都市構造の実現に向けた甲府市立地適正化計画の策定などに取り組むとともに、甲府市健康支援センターを開設し、更なる市民福祉の増進につなげるなど、様々な事業展開を図る中、本年1月中旬以降には、新型コロナウイルス感染症の影響から市民の暮らしを守る支援策を最優先に継続実施しており、今後も市民生

がありました。

これに対し、本事業は「手助けを必要とする方」と「手助けをする方」をつなげるために大変有効であることから、更なる事業の推進を求める意見がありました。

○商工費について

タイ王国海外販路開拓支援事業についてたまたしたのに対し、タイ王国へのトップセールス及び商談会を行い、本市のジュエリーの新たな販路を開拓し、更なる地場産業の振興を図ったとの答弁がありました。

これに対し、ジェトロ山梨と連携し、海外への販路拡大に一層努めるとともに、「玉石の街 甲府」のPRに努めるよう求める意見がありました。

○教育費について

学校の安全管理体制についてたまたしたのに対し、リスクマネジメント及びクライシスマネジメント体制を強化するため、全ての小中学校に防犯カメラの設置を決定するとともに、子どもたちが安全・安心な学校生活を送ることができるよう、来校者の氏名・来校目的の記入及び入校証の着用、不審者侵入時の訓練等を実施したとの答弁がありました。

これに対し、子どもたちを守ることはもとより、教職員の安全を確保した上で地域や警察と連携を図るよう求める意見がありました。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

賦課限度額の引き上げにより中間所得層の負担が増えたことから反対であ

活や地域経済の状況を把握し、万全な対策を講じることににより、持続可能なまちづくりに努めていくとの答弁がありました。

これに対し、コロナ禍ではあるが、引き続き市民福祉の向上に努めていくよう求める意見がありました。

◇令和元年度決算における財政構造の分析について
国の地方財政状況調査での類似団体との比較において、本市の収入に対する支出割合は、扶助費や補助費等が高く、財政調整基金等残高は標準財政規模に対する割合が低いといった状況を踏まえ、災害等の突発的な事象に備えるため行財政改革を一層推進し、より計画的な積立を行う必要があるとともに、扶助費や補助費等については、その多くが市民の命と生活を守る社会保障関係費であるという認識のもと、今後のコロナ禍での社会経済事情の変容を見定める中、引き続き国等の財政措置を最大限活用するとともに、健康都市宣言を踏まえた健康づくりを進める中で、扶助費や補助費等の増額傾向を少しでも緩やかなものとするよう、持続可能な財政運営に努めていくとの答弁がありました。

◇市民生活及び地域経済の認識について
県内景気は緩やかに拡大しているとの基調判断が示される中、本市でも納税義務者の増加や有効求人倍率の高水準での推移などから景気の緩やかな回復が続くと認識し、地域経済の活性化としての合同企業説明会の開催や、市民負担軽減のための経済的支援等に取り組んできたところであるが、コロナ

るとの意見や、医療費削減策として、引き続きジェネリック医薬品の利用促進に努めるよう求める意見がありました。

◇母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計
ひとり親家庭や寡婦の方にとつて有益な貸付制度であることから、更なる周知に努めるよう求める意見がありました。

◆企業会計

○病院事業会計

地域がん診療連携拠点病院としての取組についてたまたしたのに対し、がん手術をはじめ、化学療法治療やリンパックによる放射線治療等、地域住民が必要とするがん治療に取り組んだとの答弁がありました。

これに対し、地域がん診療連携拠点病院として、質の高いがん医療サービスの提供に努めるよう求める意見がありました。

○水道事業会計

有収率向上のための取組についてたまたしたのに対し、新たに時間積分式漏水調査器を導入し、効率的な漏水箇所の調査と修理に努めるとともに、計画的な管路の更新を行ったとの答弁がありました。

これに対し、一層の有収率向上のため、他都市の取組についても調査・研究していくよう求める意見がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり認定、可決及び認定するものと決しました。

令和2年9月定例会 審議結果

	議案番号	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ふ	公明党	こ う ふ 未 来	日 本 共 産 党	こ う ふ ク ラ ブ
令和2年度補正予算	議案第101号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第8号)	9月11日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第102号	令和2年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第103号	令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第104号	令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第116号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第9号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第117号	令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第4号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第120号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第10号)	9月25日	//	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正	議案第105号	甲府市子ども屋内運動遊び場条例制定について	9月11日	//	○	○	○	○	○	○
	議案第106号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第107号	甲府市税外収入の督促等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第108号	甲府市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第109号	甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第118号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
令和元年度決算	議案第110号	令和元年度甲府市各会計別決算の認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	×	×
	議案第111号	令和元年度甲府市地方卸売市場事業会計決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第112号	令和元年度甲府市病院事業会計決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第113号	令和元年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	○	○	○	○	○	○
	議案第114号	令和元年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
その他	議案第115号	市政功労表彰の決定について	9月11日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第119号	教育委員会教育長の任命について	//	同意	○	○	○	○	○	○
	議案第121号	工事請負契約の変更契約の締結について	9月25日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第122号	工事請負契約の変更契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議員提出	甲議第14号	議会基本条例特別委員会の設置について	9月11日	可決	○	○	○	○	○	○
	甲議第15号	教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○
	甲議第16号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出について	9月25日	//	○	○	○	○	○	○
	甲議第17号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

《甲府市議会会派》

政友クラブ ◎池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤
岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩
末木咲子 深沢健吾 鮫田光一
創政こうふ ◎清水 仁 金丸三郎 奥石 修 山中和男
天野 一 小沢宏至 望月大輔 寺田義彦

公 明 党 ◎中村明彦 兵道頭司 植田年美 長沢達也
堀とめほ
こうふ未来 ◎廣瀬集一 神山玄太 藤原伸一郎 川崎 靖
日本共産党 ◎清水英知 木内直子
こうふクラブ ◎山田 厚 山田弘之 ◎は会派代表者

◎市政功労表彰の決定

本市の発展に尽力され功績が顕著であることから、次の方々を市政功労表彰者として決定する議案が提出され、全員異議なく可決されました。

高野恒夫（地域の発展と市民福祉の向上）

小松史俊（保健衛生の向上）

◎人事案件については、次のとおり同意されました。

◆教育委員会教育長の任命について
数野保秋

（敬称略）

市民の声を反映して

請願または議員自らの提案に基づき、議会の意思を決定し提出します。

教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度については、3分の1に引き下げられ、独自財源により人的措置を行っている自治体も多く、地方自治体財政を圧迫していることや自治体間の教育格差が生じることは大きな問題である。

子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、定数改善に向けた財源保障のためにも国庫負担割合2分の1への復元が必要であることから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 計画的な教職員定数改善を進めるとともに、少人数学級の推進を図ること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書

令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続にあたっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 固定資産税の制度の根幹に影響する見直しは断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 経済産業大臣 内閣官房長官
まち・ひと・しごと創生担当大臣 経済再生担当大臣

防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書

今後起こりうる大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう「防災・減災、国土強靱化」はより一層、十分な予算の安定的かつ継続的な確保が必須であることから、次の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと。
- 2 地方自治体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること。
- 3 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靱化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。また、その配分にあたっては、社会資本整備の遅れている地方に十分配慮すること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 国土交通大臣 内閣官房長官
国土強靱化担当大臣 内閣府特命担当大臣（防災）

令和2年9月定例会 請願審査結果

番 号	件 名	付託委員会	結 果
第2-4号	甲府市立図書館サービスの充実を求める請願	民生文教	取り下げ (承認)
第2-6号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願	//	採択
第2-7号	甲府市立図書館サービスの充実を求める請願	//	//
第2-8号	経営破綻による医療・介護崩壊が起きないために、緊急財政支援を求める請願	//	不採択
第2-9号	新型コロナウイルスにより医療機関・介護事業所の経営が破綻しないよう国に意見書の提出を求める請願	//	//
第2-10号	日本遺産の内容に関する請願	経済建設	採 択
第1-3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	継続審査
第1-4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
第1-5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
第1-6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//
第2-2号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定等を国に求める請願	総 務	//

議 会 日 誌

7月22日(水)	会派代表者会議、議会制度調査研究会	9月8日(火)	常任委員会(総務・民生文教)
7月27日(月)	リニア・公共交通調査研究会	9月9日(水)	常任委員会(経済建設・環境水道)
7月28日(火)	関東市議会議長会	9月10日(木)	リニア・公共交通調査研究会
7月31日(金)	正副委員長会議、まちづくり調査研究会	9月11日(金)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、討論、採決、議会基本条例特別委員会設置)、議会基本条例特別委員会、会派代表者会議
8月4日(火)	議会運営委員会	9月14日(月)	決算審査特別委員会
8月11日(火)	民生文教委員会	9月15日(火)	
8月17日(月)	会派代表者会議、リニア・公共交通調査研究会、まちづくり調査研究会	9月16日(水)	
8月18日(火)	正副委員長研修会	9月17日(木)	
8月21日(金)	会派代表者会議	9月18日(金)	
8月26日(水)	議会運営委員会、会派代表者会議	9月23日(水)	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
8月31日(月)	議会運営委員会、9月定例会開会、本会議(提案理由の説明)、広報委員会	9月24日(木)	議会運営委員会、本会議(決算審査特別委員長報告、討論、採決、提案理由の説明、各常任委員会付託)、総務・民生文教・経済建設委員会、本会議(各常任委員長報告、採決)、9月定例会閉会、広報委員会
9月3日(木)	本会議(質疑及び市政一般質問)	9月25日(金)	広報委員会
9月4日(金)			
9月7日(月)	議会運営委員会、本会議(提案理由の説明、各常任委員会付託、決算審査特別委員会設置)、決算審査特別委員会	10月6日(火)	

12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
11/30 本会議 (開会)	12/1 休会	2 休会	3 本会議 (市政一般質問)	4	5	6
7 本会議 (市政一般質問)	8 常任委員会	9	10 休会	11 本会議 (閉会)	12	13

本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。



無料アプリ「マチイロ」を利用して、スマートフォンなどで、いつでも甲府市議会だよりがお読みいただけます。

※通信料は利用者負担となります。
※表示される広告の内容については、一切責任を負いません。

編集後記

昨年11月に開催した甲府市議会初めての「市民と議会の交流会」は、「甲府市を良くしたい」の思いがあふれた交流会でした。今回の甲府市議会だよりは、その後、市議会としてどのような対応をしてきたのかを掲載しました。このような機会を通じて多くのみなさまに市政に関心を持っていただけたらと考えています。

昨年度から検討が始まった市議会だより改善の取組が動き始めました。広報委員会で議論を重ね、より読みやすい市議会だよりをお届けしたいと思います。みなさまのご意見もぜひお寄せください。

広報委員 木内直子

甲府市議会広報委員会

委員長：兵道顕司 副委員長：山中和男 委 員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉